



Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan  
Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850  
URL : [http://www.kobeymca.org/kobe\\_ymca/ys/ashiya.html](http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html)

## 主 題

- 国際協会会長 K.C. Samuel (インド)  
フェローシップとインパクトで次の100年へ
- アジア太平洋地域会長 Shen Chi-Ming (台湾)  
新しい時代とともに、エレガントに変化を
- 西日本区理事 田上 正 (熊本むさし)  
原点を知り将来に生かす  
Know the origin and utilize it in the future!
- 六甲部部长 若林成幸 (宝塚)  
困難なときにこそYMCAと共に進もう  
Let's proceed with YMCA in difficult times
- 芦屋クラブ会長 大岩雅典  
主題 力を合わせて出来ることから始めよう  
Let's start with what we can do together

## 今月の聖句

「蟻には首領もなく、指揮官も支配者もないが夏の間にパンを備え、刈り入れ時には食糧を集める」  
<旧約聖書・箴言 6:7~8>

## 8月西宮・芦屋合同納涼例会

と き: 2022年8月20日(土) 18:00~20:30  
と ころ: カクティーナ ケ インカント (阪神香櫨園)

- I部 例会** 司会: 山本常雄ワイズ
1. 開会点鐘 大岩雅典会長(芦屋)
  2. クラブソング 斉唱 一同
  3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
  4. ワイズニュース 濱・大岩両会長
  5. YMCA ニュース 藤田・坂本両担当主事

- II部 懇親会** 司会: 丸山悦治ワイズ
6. 食前感謝 小野勅紘ワイズ
  7. 会食・歓談 一同  
イタリアコース料理とフリードリンク  
イタリア音楽・カンツォーネをお楽しみください
  8. 誕生日のお祝い
  9. ゲスト紹介 濱・大岩両会長
  10. アピール・その他お知らせ 有志
  11. 閉会点鐘 濱 浩一 会長(西宮)

★ 会費: 男性 7,000円 女性 6,000円

- 会 長 大岩雅典  
直前会長 大岩雅典  
副 会 長 山口光一・福原吉孝  
書 記 柏原佳子・上野恭男  
会 計 羽太英樹  
監 事 上野恭男  
担当主事 坂本孝司  
六甲部広報委員 大岩雅典

8

Aug., 2022  
302号

## 『夏休み』

大岩雅典

子供たちは夏休みに入りました。我が家でもお友達が出来たりにぎやかな日々を過ごしております。

家の外は周りの目が厳しく、子ども達も例外なく屋内で遊ぶことが多いです。

海や山のレジャーは自粛や規制が多く、学校からも厳しく生活指導が入り、公園や花火、家族旅行など学校の管理外では親の責任で、自粛や報告義務など本当に大変な状況となっております。

感染者も過去最大で増えており物価高や、戦争の気配も相まって、世間全般が恐怖に震え上がっているように見えます。

空は青く、昨日もきれいな夕陽を見ながらテレビの大騒ぎは嘘のように心地よい風に吹かれ、幸せな気分でしたが、テレビを点けると一変不安と恐怖に迫られてきます。テレビなどない世界だったら平和なんだろうと妄想してしまいます。

ワイズ活動についても、8月は感染症のリスクを十分考慮し行動しなければなりません。

YMCA余島、ONECAMPは無事開催できそうですが、父兄から寄せられる不安に対応するスタッフやリーダーたちは厳しい対応が必要とされます。問題なく開催されることを願います。

いったい何年続くのか、花火大会や夏祭りや市民プール開放は、戻ってくるのか? 本当に早く終わってほしいとおもいます。

紅葉を見ながらチヂミを販売していたあの頃が帰ってきてくれることを望みます。

## 7月例会集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手	
メンバー	12名	出席者	12名	累計	gm
ビジター	5名	メイクアップ	2名		
ゲスト	4名	合計	名		
メネット	1名	在籍者	17名	ニコニコ	17,000円
コメント	名	(内広義会員1名)			
合計	22名	出席率	87.5%	累計	17,000円

## 7月第1例会報告

日時：7月20日(水) 19:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：大岩雅典会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子  
島田 恒・中山豊美・堤 清・羽太英樹・坂東幸子  
福原吉孝・増田知子(各ワイズ)、坂本孝司担当  
主事&山口千佳メネット

ビジター：若林成行(六甲部部长)・多胡葉子(同書記)  
長尾亘(同会計)・川崎孝子・日比貴史(神戸クラブ)

ゲスト：大西謙・藤井信雄・家城 稔(島田ワイズ友人)  
奥田 実(中山ワイズ友人)

今回、2022年度7月例会であるが、昨年度より引き続きの大岩新会長もと、『力を合わせて出来ることから始めよう』の主題を掲げて運用するキックオフ例会である。



大岩新会長の開会点鐘に始まり、全員でのクラブソング斉唱、羽太メンの聖書朗読となった。

新年度の若林六甲部部長の訪問があり、ご挨拶と六甲部運用の方針などを拝聴した。

続いて、芦屋クラブの大岩新会長の所信表明となり、芦屋クラブ会員で、しっかり盛り上げていきたいと思う。

今回の講演は、『いま私たちは、どこにいるのか』島田ワイズのメンバースピーチである。

日本経済のGDPを20年前と現在の世界との比較から始まり、欧米諸国と比べて伸長率の低さ、世界第2位を誇った日本経済も大きく遅れ、特にIT領域等、顕著に現れているのが日本の現況であり、中国が世界第2位に大躍進した結果等を解説して頂いた。

また、世界は、今まで叫ばれていたグローバリゼーションから、中国経済、大躍進の象徴である習近平主席、ウクライナ侵襲したロシアのプーチン大統領グループとアメリカ、日本等の欧米の民主主義国家との対立する時代に急変したのが昨今の状況である。

現在侵略戦争が行われている中、日本にとっては、中国、北朝鮮、ロシアとの隣国であり、対岸の火事とは言えず、防衛力はどうか？の問題提起が島田メンよりあった。

まさか、21世紀にこのような侵略戦争があるとは想像も出来なっただけに、日本にとっても検討すべき大きな課題である事が判る。参加者からの質議でも色々意見が出ていた。この点で、それぞれの見識、意見があって当然と思う。とても時間が足りないので、残念であるが、中断させていただいた。それぞれが、しっかりと考えてほしいと思う。



島田ワイズの含蓄のある講演であり、直近の世界情勢の中、考えさせられた。

事務報告、YMCA報告、誕生祝があり、大岩会長より閉会点鐘となり無事終了した。

さて、コロナ終息とならず、軽症ではあるが、コロナ感染が猛威を振るっている。身近にも感染者が出現している。しっかりと出来る範囲で対策をして、備えましょう。 福原吉孝

### 『いま私たちは、どこにいるのか』

期初恒例依頼をいただいたメンバーズスピーチは、いつものようにテーマ「私たちは今どこにいるのか」と定め、コロナ地球温暖化、ウクライナ情勢等直近の課題のなかから、ウクライナに対するロシア侵略に伴う社会・経済変動を「グローバリゼーションの終わり」としてフォーカスし、世界情勢と日本の今後についてスピーチした。

直近20年、グローバリゼーションが進む中、世界経済は大きく成長し、世界の工場さらには先端技術の構築に成功した中国が18倍となって世界第2位規模に躍進、1位のアメリカは2.7倍、西欧諸国は約2倍になったのに比し、日本は僅か1割成長、地位も3位に落ち、先進国からは内容的に周回遅れになってしまっていることを数字で示した。

世界におけるシェアも半減し、経済的豊かさへの欲求はそのままに、足踏みのままである。

一方、ロシアによる不当侵略の結果、世界は民主主義グループと独裁主義グループに分断され、「世界を一つに」というグローバリゼーションの破綻が、経済も社会ももちろん世界大戦の危機まで懸念される状況にある。

このような状況にあって、わが日本の取るべき体制について若干の私見を述べた。

わが国は民主主義グループに立ち位置を定めるとともに、平和憲法を順守し、世界の紛争に和解の務めを果たすべく、アメリカや西欧とも一歩を置いたユニークな貢献が望まれる。世界3位の経済力、医療や

文化が活かせるのではないかと、そして国民が自ら幸福を感じている社会モデルを確立する営みを期待したいと結んだ。そのためには、国家としても個人としてもしっかりした価値観(拠って立つ基軸)が必要であり、ワイズを含む非営利組織の働きも期待されることである。 島田 恒



### 六甲部第1回評議会

コロナ禍、第7波へと先行き不透明な中、三年ぶりの神戸YMCAチャペルでの六甲部新年度第1回評議会に出席した。事務局の報告では42名が現地参加、Zoom参加6名。内、芦屋クラブからは、大岩雅典会長、上野恭男、島田恒、福原吉孝、柏原佳子、桑野友子各ワイズと小生の7名が現地参加した。(会議後の懇親会には小生は体調不良で欠席) 若林成幸部長による開会点鐘、ワイズソング斉唱、祈祷、過年度に天に召された故人3人を偲んで黙とうを捧げた後、評議会がスタートした。大野智恵直前部長による活動報告、山田慈巳会計による収支報告、柏原佳子監事に

よる会計監査報告が感謝をもって承認された。続く若林部長による部長方針3項目、①「YMCA中期計画を学び、これからのYMCA・これからのワイズを共に考える」②「地域社会の課題を見出し、他の活動者に寄り添って貢献寿命を延ばす」③「オンラインによるコミュニケーションを広めワイズライフの楽しさ、喜びを分かちあう」が発表され、ワイズ、YMCAの知名度を深める方策の検討などの意見も出され、拍手によって承認された。今期の部役員、事業主査、委員長、各クラブ会長の紹介の後、長尾亘会計から今期六甲部予算案が提示され承認された。引き続き7クラブの会長による活動計画案が発表され承認された。最後に以下5項目の議案が提出され可決された。①「輪番制内規の改正」②「次期部長として神戸クラブ井出浩ワイズを承認する件」③「部則検討委員会設置」④「文書等保存委員会の設置」⑤「ワイズCS活動事例集の制作とCS事例研究会実施の件」以上、予定超過の長時間の評議会は井出浩次期部長による閉会点鐘で第1回評議会は終了しました。

“お疲れさま・・・！！”

羽太英樹

### ペット・寸感

【《動物愛護管理法違反》で逮捕！】と2件のニュース。誠に残念ながら法規制の遅れていた我が国での事件である。◆【犬400匹虐待の衝撃】【劣悪な環境で、56匹の犬が病気や怪我により衰弱。】との新聞報道があった。小さな命が無惨でならない。◆コロナ渦中に於いて人気のあるペット事情。数十万円もする高額なペット犬が、業者のオークションに出品されペットショップに卸されてゆく。◆【動物愛護管理法】の適正化をいち早く改善せねばと本年6月1日より《動物虐待と不適切飼育の防止及び迷子犬の発見等》を目的にペットショップでの購入時に【登録マイクロチップ】の装着がやっと義務付けされた。(その他からの場合は【努力義務】)との情報も。効果を期待したい。(フランスでは2024年よりペットショップでの犬・猫販売は法規制にて廃止とも。)◆又、ここ数年癒しを求め、新たに飼われる様になった【猫】ブームで、飼育数は【犬】を逆転したとも……。◆とは言え残念ながら市町村では【保護された猫の殺処分】(その5割は幼い仔猫)を減らそうと、ある自治体が民間(ボランティア)との連携で動き始めたようだ。心強い明るいニュースだ。◆自治体側としては、【仔猫にはミルクをやる作業が伴い僅かな病変で亡くなるケースもあり】職員不足の為有り難いと。又【仔猫のもらい手探し】にも繋がるので一挙両得だと……。《何よりも、まずは命の尊さを大切にしたい。》◆御近所Aさん宅の【愛犬マル君(写真)】を紹介しよう。彼は4年前に、はるばる広島県から正式な【飼う側の審査をパス】したAさん宅に…。そうなんです。可愛い幼犬で引き取られて来た【保護犬】なのです。今はすっかり大きくなり新しい家族(お子様二人)に囲まれ楽しそうな日常を……。



【微笑ましい動物愛護の一つのシーン】を垣間見て思う。【マル君】のセカンド・ライフに幸多かれと。乾杯！

篠坂幸彦

### 余島へのお誘い

昨年はYMCAキャンプ100年そして余島キャンプの70年記念に合わせて、YYY余島シニアキャンプを実施しました。「余島の再発見」をテーマに、余島キャンプの現状や今のユース世代の抱える課題について語り合い、そして外部の専門家も招いて、小豆島までのカヌートリップやSDGs勉強会等、充実したプログラムを満喫することが出来ました。社会とのつながりから断絶され、世の中を生き抜いていくための知恵や力が次の世代に伝承されにくい社会に生きている現代のユース世代にとって、大自然の中で自然と向き合い、仲間と知恵を出し合っ



て前進することがとても貴重な経験であることを聞き、大いに共感することが出来ました。また、キャンプ中に講師の方から問いかけられた、「皆さん、あと何年生きますか?」、「地球にはもう時間がありません」という言葉は深く参加者の胸に刻み込まれました。



今年のキャンプは、ユース世代とのコラボレーションを目指し、キャンプの名称もYYY余島ユース&シニアキャンプとし、「自然の中で育ててもらった青春を感謝し、

これから生きるユースを応援」することをメインテーマに掲げ、「引き継ぐべきもの、私たちに出来ること、気候危機について」について参加者の皆さんと語り合いたいと考えています。

また、今回のユース&シニアキャンプの実施と合わせて、余島キャンプ事業へのご寄付のお願いもさせていただきます。自然と人が共存し、「境遇の異なる人々がともに生きる世界」を体感できる場所として余島キャンプを支援し、今回のキャンプに参加してくれるユースの交通費等のサポートをするために寄付金は使わせていただく予定です。



既に芦屋クラブからは、昨年に引き続き、暖かいご支援をいた



中山豊美ワイズの依頼で原稿を頂きました。

だいており心から感謝申し上げます。個人の皆様からの支援も引き続きご検討いただくと幸いです。

是非、一人でも多くの方々と余島でご一緒できることを楽しみにしています。

日比貴史(神戸クラブ)

## 聖句 読み解き

聖書には私たちの心を慰める言葉がたくさん書かれている一方で、読む者の心に鋭く迫る警告の言葉も数多く書かれています。その一つが「蟻を見習って備えをしなさい」との警告です。

いま、私たちは「備え」をしているでしょうか。「万物の霊長」などと人間は自らをそう呼んで、備えを大切だと考えて行動はしていますが、大丈夫でしょうか？ ロシアのウクライナ侵攻で「食糧安全保障」が世界の喫緊の課題となった2022年です。2021/22年度ウクライナの小麦の生産量は3,300万トン(前年度は2,420万トンだったので36%増) トウモロコシは4,200万トンで39%増になるそうです。「万物の霊長・人間」は、努力して備えをしているのです。ところが一方この「万物の霊長・人間」は、今、食糧を「武器」として利用し貧しい弱者を殺そうとしています。ウクライナでは、毎年8、9月頃に小麦の作付けが始まり、収穫は翌年7～8月に行われます。昨年度産の小麦などがオデーサなど黒海沿岸の港の船やサイロに大量に眠っています。新年度産の小麦もまた港のサイロに到着するでしょう。働き者の蟻たちは「万物の霊長・人間」を「愚か者」と叫びながらこの酷暑の夏に備えに励んでいるのかもしれない。

マタイ福音書では「だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである(24:44)。」いま私たちはイエスさまを迎えるための備えができていますか？も問われています。

羽太英樹

## 7月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター204号室

日時： 7月27日(水)19:00～21:00

参加者： 上野・柏原・桑野・島田・羽太・浜瀬・福原  
山口(各ワイズ) & 坂本担当主事

◇ブリテン編集会議 第2例会議事録(抄)は今後書記が作成することにする。

◇7月13日開催の特別幹事会の議事録を承認。

◇柏原書記、上野第2書記の就任を承認。菅原ワイズの退会を承認。

◇例会について

・8月20日(土)西宮、芦屋クラブ合同納涼例会は、カクテーナで開催。

会費は男性7,000円、女性6,000円、クラブより各2,000円助成。

芦屋クラブのメネット他ゲストの参加を呼びかける。(プログラム別紙)

・9月21日(水)例会は神戸ポートの山田貴子メネットの「世界のお茶」。

・10月19日(水)は山口光一ワイズのメンバーズスピーチ。

◇2022-2023年六甲部ワイズCS活動事例集の制作は、上野ワイズが対応。

◇各事業委員報告

ファンド委員より:須磨海苔ファンドは継続する。

例会時に@600円で販売。

◇会計報告 羽太会計

6月号月の会計報告、2021年度決算報告、2022年度収支予算書を承認。

YMCAワンキャンプに20,000円、よしましよ支援金50,000円を計上。

◇YMCA報告 坂本担当主事報告。

◇その他

芦屋クラブ25周年記念事業の提案があった。YMCAチャペルのバトン昇降装置の贈呈について協議。金額、YMCAの対応など未確定なものを整理し話しあう。継続事項とする。  
◇第2例会は、原則8時半に終了する。

文責 上野第2書記

## YMCA ニュース

### ■神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科歓迎遠足

この4月に入国し、日本での生活を始めたばかりの学生たちの歓迎遠足を行いました。

とても暑い日でしたが、コロナはもちろん、熱中症対策も徹底したうえで、いつもは歩いて登るところを、ロープウェイを使って、市ヶ原まで、ハイキングを行いました。街中はとても暑い一日でしたが、山の中は涼しかったようです。

きれいな川の流れる、足を入れると、とても気持ちよく、夏休みに入る前に、みんなとの思い出がたくさんできました！



### ■ホテル学科 夏期ホテル実習スタート

神戸 YMCA 学院専門学校ホテル学科では、多くのホテルのご協力を賜り、年間3回のホテル実習を行っています。実際の現場での学びは、学生たちの一生の宝物となるものです。現在、学生たちは約6週間の実習に取り組んでいます。実習を終え、頼もしくなった学生たちに会えることを楽しみにしています。

### ■2022年度 余島キャンプ 実施中

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながら、この2年、キャンプを当たり前前に実施することが困難になり、とても厳しい状況が続いてきましたが、7月16日の余島キッズキャンプジュニアを皮切りに、2022年度の余島キャンプがスタートしております。ユースリーダー、そして多くの余島を支える皆様のご支援の下、リーダーと子どもたちがかけがえのない時間を共に過ごしております。

キャンプの様子は、以下ブログから、確認できます。キャンプの状況によって、掲載のタイミングはご容赦願います。

ぜひ、ご覧ください。余島日記 <http://yoshima-blog.org/>



### ■ウクライナ緊急支援募金について

未だ、状況が改善されず、苦しい環境下に置かれている方々が、まだまだ多くいらっしゃいます。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

<募金期間> 2022年5月1日～8月31日

<神戸 YMCA 寄付サイト>

こちらからウクライナ緊急支援募金を捧げることができます。

<https://kifu-kobeymca.org/fund/ukraine/>

編集後記：新しい年度、恒例の部長公式訪問から始まりました。収まるか？と見えたコロナ禍は第7波、感染者も増え続けています。連日の猛暑に熱中症も心配ですが、8月の合同納涼例会を大いに楽しみましょう！ 桑野友子